

IT技術を医療ビジネスにつなげる デジタルヘルス参入セミナー

健康・医療・介護といったヘルスケア分野のサービスにおいては、質を低下させず、適正なコストで提供していくためには、デジタル技術をいかに活用するかが大きな課題となっています。そのような背景において、IT企業やスタートアップが参入しやすい領域としてプログラム医療機器SaMDが注目を集めていますが、「ニーズ収集と見極め」や「法規制への理解と実行」に高い壁が存在しています。本セミナーでは、SaMDからヘルスケアアプリまで、IT技術を医療ビジネスへつなげるための「最初の一步」をナビゲート。成功企業の分析や、現場での試行錯誤から見てきたリアルな教訓を通じて、どのようにして医療健康分野のニーズを把握して事業化していくか、具体的なヒントをお届けします。

※SaMD (Software as a Medical Device) は「病気の診断・治療等に用いられる医療機器ソフトウェア」です

オンライン
開催

14:00 15:00 規制の違いからひも解く参入ロードマップ

講師 小菅 みのり 氏 (株式会社ロッケン 薬事品質保証部 部長)

SaMDとヘルスケアアプリは、規制やビジネスモデルが大きく異なります。本セミナーでは、それらの違いを整理した上で、先行するスタートアップ各社の事例を分析。自社の規模や得意分野に基づき、どの領域からアプローチすべきかの「参入マップ」を提示します。価格決定の仕組みや、規制を考慮したステップアップ戦略など、IT企業が事業化を目指すための指針を解説します。

15:00 16:00 ゼロから始めるSaMD開発

講師 山寺 純 氏 (株式会社Eyes,JAPAN 代表取締役)

IT企業にとって参入の壁となる「医療現場との接点」や「法規制」をどう乗り越えるか。会津を拠点に活動する山寺氏より、自身の開発経験を交えてお話しいただきます。医師や研究者との出会い・マッチングの秘訣から、製品開発の苦労、そして医療分野に挑む魅力まで。現場のリアルな視点から、技術を医療価値へ変換するためのヒントを公開します。

2026

2.24 火
14:00-16:00

定員：50名

形式：オンライン

対象：IT企業、SaMDに興味のある方

締切：2月20日（金）

申込：右記二次元バーコードからお申込みください

参加費：無料

※お申込みいただいた方には後ほど視聴用URLを送付いたします

申込はこちら



お問い合わせ

ふくしま医療機器開発支援センター 担当：三浦
TEL：024-954-4014 MAIL：atsushi.miura@fmdipa.or.jp

